

山行報告書

神戸勤労者山岳会

1. 参加者 L玉田、坂本

2. 山城/ルート 北アルプス：前穂高岳～奥穂高岳

3. 交通手段 バス

4. 行動記録

<入山日 2015年 10月 7日。 下山日 2015年 10月 9日>

10/6 大阪 22：10（夜行バス） ---10/7 松本 6：45/8：00---大正池 9：30

第1日 10/7 大正池 9：50---上高地---岳沢登山口 11：45---岳沢小屋 14：00

第2日 10/8 岳沢小屋 5：00---紀美子平 8：00---前穂高岳 8：40---紀美子平 9：25---

---奥穂高岳 11：35---奥穂高山荘 12：30/13：00---涸沢 15：00

第3日 10/9 涸沢 5：50---横尾 8：00---上高地 11：20==平湯温泉（入浴）

==高山 16：30 発大阪行高速バス

5. 山行中の問題点・事故に繋がる要因

a) 予定のルート・日程で行動出来たか？

予定ルートをはずれた場合、あるいは日程が異なった場合はその理由

1日目は時間があつたので大正池から上高地までのんびり散策した

b) 事故に繋がりそうな要因（ヒヤリハット）が発生したか？

発生した場合、具体的に記す

なし

c) パーティーで、山行中の事故に繋がる要因につき、山行後検討したか？

6. その他、ルートに関する情報・気がついた事など記す

①前日に穂高山頂あたりで少し雪が降って、奥穂高岳から穂高岳山荘へ下り、日が当たらないところが一部凍っていて滑りやすくなっていた。そのため登山者も少なかった

②台風 23 号の影響か、風が非常に強くまた寒かった。山頂では防寒具、冬用帽子や手袋、顔マスクを着用した。

③涸沢の紅葉はすでに盛りが過ぎていたが、名残りの紅葉が楽しめた。

④2人だったので交通手段を高速バスにした。夜行バスは時間がかかったが、5時間ほど睡眠がとれて楽だった。

⑤帰り平湯で2時間半あつたので、「平湯の森」でゆっくり日帰り入浴し、焼肉と生ビールを飲むことができた。

報告者氏名 玉田優子

2015年 10月 11日



大正池から見える穂高岳



秋色の岳沢



前穂高岳 私たち2人だけの山頂です



奥穂高岳山頂



朝の涸沢、名残りの紅葉とモルゲンロート



涸沢谷の紅葉を見ながら下山